

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成 20 年度技術情報について

平成 20 年度技術情報第 1 号を公表したので送付します。

平成 20 年度技術情報第 1 号

平成 20 年 7 月 17 日
徳 島 県

四国地方は、平年より 14 日早い 7 月 4 日ごろに梅雨明けしたとみられており、以降平年に比べて降水量がやや少なめの気候が続いています。7 月 11 日発表の 1 ヶ月予報においても、「気温は高い確率が 50%」と予想されており、オオタバコガの発生量の増大が懸念されます。現地においては発生状況の把握に努めるとともに適切な防除指導をお願いします。

農作物名：野菜(ナス、トマト、ピーマン、キュウリ、メロン、オクラ、スイートコーン)、
花卉(キク、バラ、トルコギキョウ、カーネーション)

病害虫名：オオタバコガ

1. 発生地域 県下全域

2. 発生時期 7 月中旬～

3. 発生状況

(1) フェロモントラップ誘殺数

阿波市市場町香美のトラップでは、7 月 1 半旬以降誘殺数が急増しており、その値は、7 月 2 半旬の時点において、平年のほぼ 2 倍に達している(図 1)。

(2) 現地圃場における発生動向

7 月 2 半旬の夏秋ナス現地調査において、各地でオオタバコガの産卵数が急増していることを確認した。

また、幼虫による果実への加害開始時期も 6 月末頃からと例年になく早く、その程度も高い傾向にある。

4. 防除方等

(1) 被害部位(果実、花蕾)や剪定後の茎葉には卵や幼虫が付着している可能性があるため、圃場外に持ち出して適切に処分する。

(2) 施設栽培では、4 mm 目合い以下の防虫ネットで開口部を被覆すると、成虫の侵入防止効果がある。

(3) 果実や茎、花蕾に食入した幼虫(図 2)や、発育が進んだ幼虫に対しては薬効が著しく低下するので、若齢幼虫主体の時期を狙って薬剤防除を行う。

(4) 本虫は作物の花蕾や生長点付近の新葉に一個ずつ産卵する。野外での卵期間は 3 日程度なので、本年の場合、7 月 3～4 半旬に幼虫の第一回目の発生ピークが来ると見込まれる。

(5) 次世代幼虫の発生ピークは 8 月上～中旬と予想されるものの、ダラダラと常に多い発生状態となり、防除適期がつかみにくくなる場合もあるので、寄生部位を注意深く観察してから防除する。

(6) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

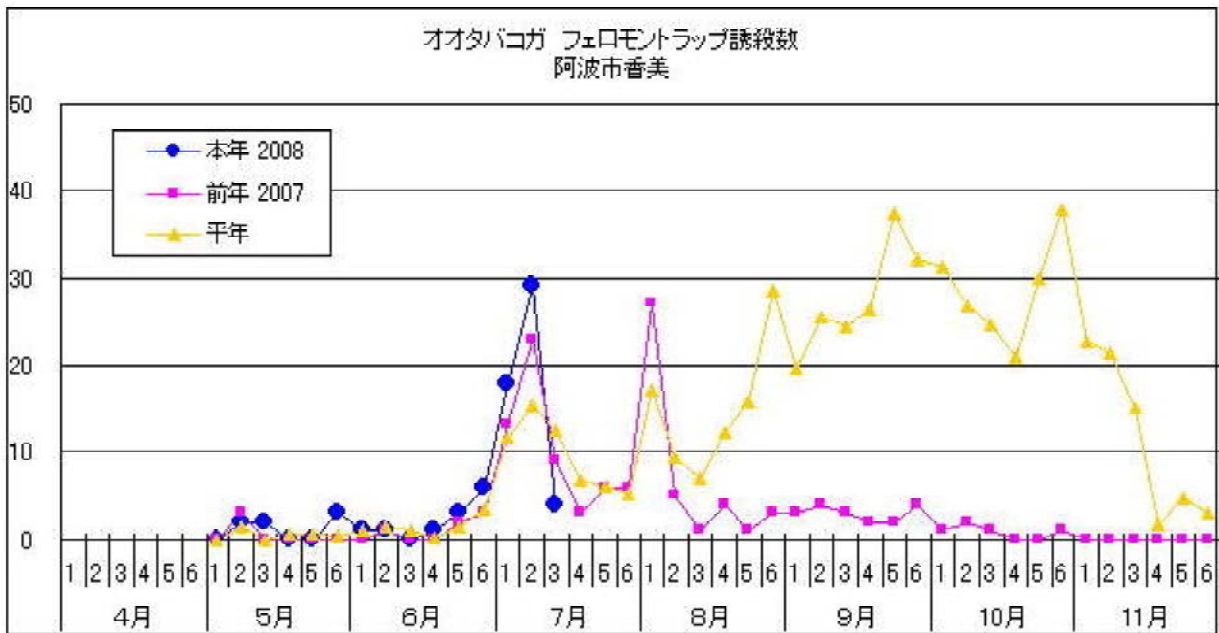


図1 オオタバコガ雄成虫誘殺数の推移



図2 トマトの幼果に食入していたオオタバコガ幼虫